

令和7年度



給食たより

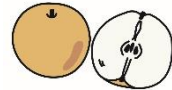
湯上市立大豊小学校

令和7年9月



朝晩の冷え込みから秋を感じる頃となりました。秋は別名「食欲の秋」とも言われます。旬を迎える食べ物が多いこともこの言葉の由来の1つだとされています。湯上市内でも果物をはじめとする旬の食べ物が見かけられるようになりました。食べすぎには注意しながらも、旬の食べ物を食べて、楽しい秋を過ごしたいものです。

湯上市のなしを提供しました！



秋田県湯上市は、県内でも果樹栽培が盛んな地域のひとつです。特に秋の味覚である「なし」は、この時期に旬を迎え、みずみずしい甘さとさわやかな香りが特徴です。9月18日（木）の給食では、高橋果樹園で収穫された新鮮ななしを提供しました。子どもたちは、地元でとれた果物を味わいながら、季節を感じて楽しそうに食べていました。給食を通して、地域の自然の恵みにふれ、旬の食材を大切に味わうことの大切さを学ぶ機会となりました。



食品ロスを減らそう！

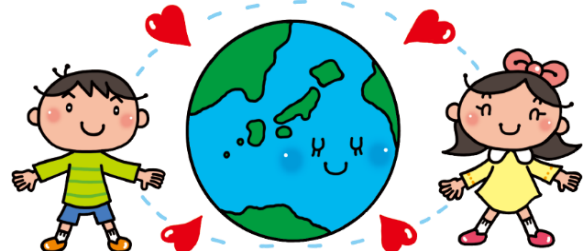
「食品ロス」とは、まだ食べることができるのに、ごみとして捨てられてしまう食べ物のことです。日本では1年間で約600万トンもの食品ロスが発生しています。これは、日本人1人あたり、毎日お茶わん1杯分のご飯を捨てているのと同じ量になります。食品ロスが生じると、食べ物が無駄になるだけではなく、地球環境にも悪い影響を与えます。大切な食べ物をむだにせず、また地球環境を守っていくためにも食品ロスを減らす努力が大切です。今月は、「食品ロスを減らすため、自分になにができるか」を考える月間にしましょう。

食品ロスを減らさなければならない理由

食べ物の「いのち」を
そまづにしないため



地球環境を
守っていくため



私たちにできることってなんだろう？

食品ロス削減のために
私たちが給食時間にできること

- ☆クラス分の給食はできるだけ食缶に残りがでないように盛り付けよう。
- ☆苦手な食べ物が出てきても、一口は食べるようにこころがけてみよう。
- ☆給食当番は協力し合って素早く準備し、給食を食べる時間を確保しよう。

食品ロス削減のために
私たちが家庭でできること

- ☆買い物では必要な分だけ買う。
- ☆スーパーではできるだけ手前の商品から買うようにしよう。
- ☆皮ごと使える野菜はよく洗いそのまま使うなど、食材を上手に使い切ろう。
- ☆外食では食べきれない量を頼もう。